

イソプロパノール消毒液50%「ヨシダ」

50%イソプロパノール液

貯 法：気密容器に入れ保存
使用期限：ラベルに記載

承認番号	22000AMX00257000
薬価収載	2008年6月
販売開始	2008年6月
再評価結果	1983年4月

【禁 忌(次の部位には使用しないこと)】

損傷皮膚及び粘膜〔損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。〕

【組成・性状】

1.組 成

日局イソプロパノール(C₃H₈O)50vol%を含む。

※2.製剤の性状

本剤は無色澄明の液である。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒。

【用法・用量】

イソプロパノールとして、50%液をそのまま用いる。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- 本剤が眼に入らないよう注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。〔イソプロパノール蒸気に大量または繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。〕

2.副 作 用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過 敏 症 ^{注)}	発 疹 等
皮 膚 ^{注)}	刺 激 症 状

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3.臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

4.適用上の注意

- 投与経路：外用にのみ使用すること。
- 使用時
 - 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
 - 本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。

※【薬物動態】¹⁾

消化管から速やかに吸収されるが、皮膚からはゆるやかに吸収される。エタノールよりゆっくりと代謝され、大部分はアセトンに酸化され尿及び呼気中に排出されるか、更に酢酸、ギ酸、CO₂にまで酸化される。またイソプロパノールの一部は未変化体として、一部はグルクロニドとして排泄される。イソプロパノールは投与後、15分以内に呼気中に、また1時間以内に尿中に検出される。大量摂取すると未変化体及びそのグルクロニドとしての排泄量が増大する。

※【薬効薬理】¹⁾

本剤は消毒用としてエタノールの代わりに用いられる。微生物のたん白質の変性凝固、代謝障害、溶菌により殺菌作用を示す。最適濃度は50～60%と考えられる。エタノールの2倍の効力がある。本剤は栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルスなどには有効だが、芽胞及び一部のウイルスには殺菌作用は期待できない。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：イソプロパノール

化学名：propan-2-ol

分子式：C₃H₈O構造式：

$$\begin{array}{c} \text{OH} \\ | \\ \text{H}_3\text{C}-\text{C}-\text{CH}_3 \end{array}$$

分子量：60.10

性 状：無色澄明な液で、特異なにおいがある。

水、メタノール、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。

燃えやすく、揮発性である。

【包 装】

500mL、10L、18L

【主要文献】

※1)第十六改正日本薬局方解説書 C-530 廣川書店(2011)

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部

〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10

TEL 03-3381-2004

